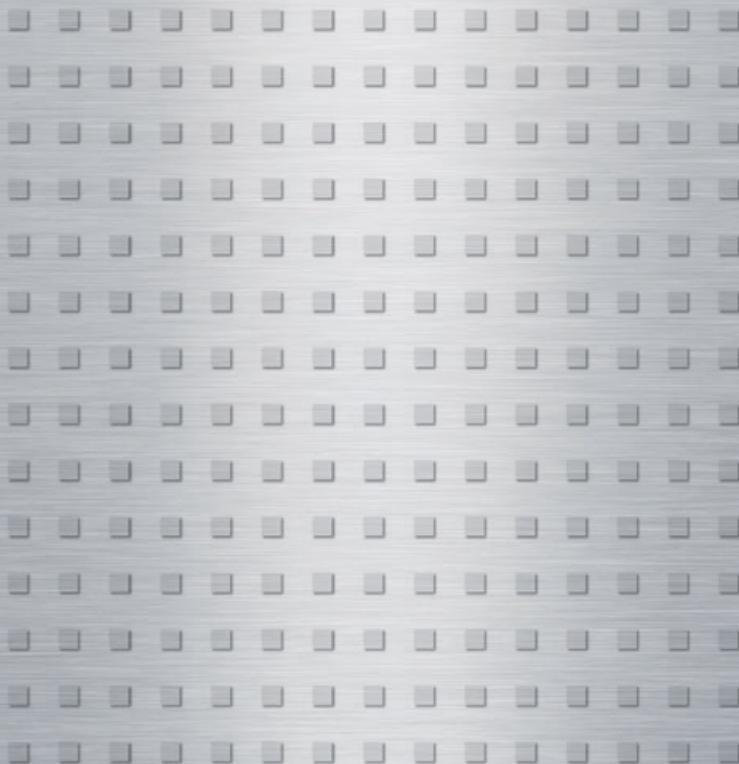


第64期中間 | 株主通信

2011年4月1日 ▶ 2011年9月30日

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY



株式会社 森精機製作所

(証券コード: 6141)

**お客様にとって
一番の工作機械メーカーであること。
それが私たちのグローバルワンです。**

切削型工作機械の総合メーカーとして、
森精機製作所は常にものづくりの原点を支えてきました。
その歩みは、常に変革と挑戦の歴史でもありました。
そして今、私たちが目指していること。
それは、お客様にとって一番の工作機械メーカーになることです。
最高の技術とサービスを絶えず追求し、
工作機械の新しい価値を、無限の可能性を、
世界中のお客様へお届けしてまいります。

連結売上高

(単位：百万円)



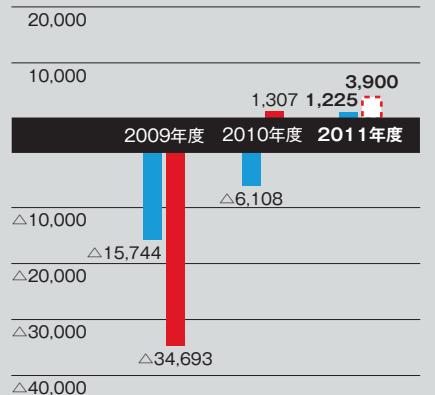
連結営業利益

(単位：百万円)



連結中間(当期)純利益

(単位：百万円)





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに第64期中間期(2011年4月1日から2011年9月30日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

事業の経過および成果

当中間期の工作機械業界における受注環境は、欧州での財政金融不安や円高などの影響に懸念が残りますが、日本工作機械工業会の発表によると、2011年1月から9月までの工作機械受注額は、前年同期比43.1%増を記録するなど、受注は堅調に推移しています。

こうした状況のもとで、当中間期における売上高は71,812百万円、営業利益は2,328百万円、経常利益は1,075百万円、四半期純利益は1,225百万円となりました。

ドイツGILDEMEISTER AGとの協業

GILDEMEISTER AG(以下、ギルデマイスター社)との協業は、販売・サービス、購買、生産、開発等の分野で順調に進展しております。2011年9月にドイツで開催された「EMO Hannover 2011」では、両社あわせて約100台の製品を出展し、約2万名ものお客様にご来場いただきました。

ドイツ国内では、MORI SEIKI G.M.B.H.の一部事業をギルデマイスター社の販売・サービス子会社へ譲渡しました。また、欧州購買部の設立により、欧州の優良サプライヤから部品調達が可能となりました。

その他の欧州各国においては、関係各国法令の許可を前提に、スイスに合弁会社を設立予定で、すでに共同販売・サービス提供を開始しているアジアや米州等に続き、欧州においても販売統合を進めてまいります。

今後の課題と取り組み

生産面では、2011年7月より伊賀事業所の一部においてライン生産を導入し、生産効率の向上に取り組んでおります。既存の国内工場に加え、2012年7月操業予定の北米工場、さらにはギルデマイスター社の生産拠点を相互活用し、お客様に近い場所で生産することにより、納期及びサービス面での競争力の向上を図ります。また、これにより為替リスクを回避し、災害に対するリスクに強く安定した生産体制を整えてまいります。

製品面では、近年需要が高まっている建設機械や航空機、エネルギー産業向けを中心に、主力機種「Xクラス」のラインアップを拡充し、より多くのお客様の生産現場を支えてまいります。また、省エネルギーの流れを受け、自動車部品や電機部品の小型・軽量化、高精度化を追求し、コンパクトで高速・高精度な製品へのニーズにお応えいたします。

配当について

第64期中間配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり10円を12月1日からお支払いすることといたします。利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、安定的かつ永続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

今後とも、さらなる事業拡大へ邁進する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

取締役社長 森 雅彦
工学博士

豊かな暮らしを作る工作機械

さまざまな分野で活躍する製品づくりに、森精機の工作機械が活躍しています。



工作機械は「機械を作る機械」
多くの製品の構成部品やその金型を生み出します。

01 航空・宇宙



ブリスク



タービンブレード

02 精密・金型



タイヤ用金型



テールランプ用コア金型

03 電機・通信・半導体



光通信用スライドスリーブ



複写機部品

04 自動車



シリンダブロック



アルミホイール

05 船舶・建機



クランクシャフト



スクリュー

06 発電・資源・エネルギー



タービンブレード



波流計ポンプ

07 医療



人工関節



歯科治療用高速スピンドルヘッド

GILDEMEISTER AG (DMG)との業務及び資本提携。

グローバルな工作機械市場でのリーダーシップ確立を目指して

2009年3月に始まった両社の業務及び資本提携は、販売拠点の統合、部品供給、共同開発、顧客向けファイナンス事業など、飛躍的に進展しております。2011年4月にはDMG株式の追加取得を行い、DMG総株式発行数に対する当グループの株式保有率は20.1%となり、さらに提携基盤を磐石なものとなりました。

また2011年9月1日にドイツ国内の販売統合が実現しました。欧州市場において強力なプレゼンスを有するDMGとの販売統合を進めることで、当社製品の拡販につながるものと考えております。



GILDEMEISTER AGの会社概要

名称	GILDEMEISTER AG	業績(2010年1月~2010年12月)
主な事業内容	工作機械の製造、販売	売上高 1,377百万ユーロ
設立年月日	1870年(明治3年)10月1日	営業利益 45百万ユーロ
本店所在地	Gildemeisterstr. 60 D-33689 Bielefeld Germany	純利益 4百万ユーロ
代表者	Ruediger Kapitza CEO	総資産 1,358百万ユーロ
資本金	156.4百万ユーロ	
従業員数	5,948名(連結,2011年9月末)	

協業事例紹介

1

販売拠点の統合



当社のドイツにおける販売・サービス業務を2011年9月1日よりDMG MORI SEIKI Deutschland(仮称)に移管し、より強力で質の高い直販体制を構築しました。



2

EMO Hannover 2011での共同出展

世界三大工作機械見本市であるEMO(ドイツ)ショーでDMG, MORI SEIKI両社による共同出展を行いました。

ホール全体を借り切った圧倒的プレゼンスで期間中(2011年9月19日~24日)に欧州内外のお客様より、多数の受注引合いをいただきました。



3

共同開発、グローバル生産

次世代コンパクトマシニングセンタMILLTAP 700は、両社が共同でコンセプトを開発したDMG/MORI SEIKIブランド初の製品です。

今後は両社の拠点で順次生産を開始し、自動車部品や電機部品加工を中心とした多様なお客様に最適なソリューションを提供します。



4

グローバル調達

2011年4月より欧州購買部を設立し、DMGとの協業のもと最高の欧州サプライヤからの調達を進め、国内及びグローバルでのバランスのとれた調達を行います。

グローバルな為替リスクへの対応はもちろん、最適な納期、価格で世界に広がる生産拠点を支えます。



DMG/MORI SEIKI 奨学基金設立

東日本大震災を受け、ギルデマイスター社より日本の復興に向けた人材支援を行いたいとの申し出から、当社もその趣旨に賛同し、両社は「DMG/MORI SEIKI奨学基金」を設立しました。この基金は、被災地の復興支援と、将来の日本の製造業を担う被災地の国立高等専門学校生に対する人材支援を目的としています。

9月1日には、八戸、一関、仙台、福島の各国立高等専門学校の今年度の奨学生のうち29名が出席し、証書授与式が開催されました。国立高等専門学校の学生の皆様が、この震災を乗り越え、将来の日本の製造業を担うために、勉学に励まれることを心から期待しております。



■概要

目的	東日本大震災で被災した国立高等専門学校生に対する就学支援
名称	DMG/MORI SEIKI奨学基金
支給総額	総額約3億円
支給金額	月額1人5万円(年間60万円)
対象者	東日本大震災にて被災した国立高等専門学校の学生
運営	独立行政法人 国立高等専門学校機構に委託



東日本大震災の復興支援

◎200名体制でのサポート

当社は地震発生後、製造・サービス要員約180名、総務管理部門より約20名の合計200名で支援チームを結成し、お客様の生産復旧の機械点検・修理に対応しました。

◎24時間体制の生産復旧支援

お客様の生産復旧に向け、24時間体制でご支援をさせていただきます。詳細は、当社ホームページをご覧ください。



■電話番号

0120-124-280 / 0077-78-0222 (24時間365日受付)

■メールアドレス

service-chiba@moriseiki.co.jp
service-ctr@moriseiki.co.jp

■インターネット

https://www.moriseiki.co.jp/officialsite/inquiry/japanese/inquiry_service.html

省エネへの取り組み

◎上期の省エネ実績 ... 25%削減(前年同期比)

施策	具体的な取り組み・効果
省エネ投資	●照明器具の入れ替え ●高効率コンプレッサ(空気圧縮機)の導入
節電による効果	●照明やパソコンの電源をこまめに切る ●クーリングによる空調設定温度の28℃設定
サマータイム	●早朝出勤と残業時間短縮による照明・空調の使用時間及び消費量の削減

◎下期の主な施策

伊賀事業所に風力発電設備(10kW)を導入し、2009年度に導入した太陽光発電設備と併用することにより、再生可能エネルギーの利用をさらに進めてまいります。



導入予定の風力発電設備(WindCarrier:ギルデマイスター社エナジーソリューション製)



伊賀事業所に導入済みの太陽光発電設備(a+社(ギルデマイスター社の子会社)の太陽光追尾装置を搭載)

技能五輪国際大会に協賛

10月5日から8日まで、イギリス・ロンドンで第41回技能五輪国際大会が開催されました。世界約50カ国から厳しい予選を勝ち抜いた総勢約1,000名の若者が、46の競技種目でその技術を競い合いました。

当社は、3大会連続でオフィシャルスポンサーに選ばれ、主力機種であるXクラスのNLX2500MC/700とNVX5100/40を合計26台提供しました。また、当社がスポンサーを務めた機械加工部門の全種目、CNC旋盤・CNCミーリング・製造チームチャレンジ(電動ミニバイクの製造)において、日本代表選手が金メダルを独占する快挙を成し遂げました。



当社テクニカルセンターで練習をされた選手が 金メダルを受賞

本大会に出場された選手(写真中央)に、タイ・アユタヤテクニカルセンター内で機械を提供し、練習のサポートをしました。その結果、旋盤部門で金メダルを獲得されました。

海外インターンシップ生の受け入れ

当社は、海外の学生を迎え入れるインターンシップ(就業体験)制度を取り入れております。5月から7月までは、インド工科大学(Indian Institute of Technology、以下IIT)の学生を受け入れ、10週間の研修を実施しました。本研修は、2008年に当社が東京大学と共同で設立した「森精機製作所IIT奨学基金」を契機に、年に1名学生を受け入れるものです。今回の研修では、研究テーマ「旋盤用振れ止め最適化」の実践を通じて、機械設計のプロセスを習得されました。

機械や電気、航空などの各専門分野でさらに知識を深め、当社や工作機械に興味を抱き、将来世界で活躍されることを希望しています。また、今後もさまざまな大学との接点を持ち、優秀な学生の受け入れをグローバルに展開していきたいと考えています。



北米工場地鎮祭

6月22日、アメリカ合衆国カリフォルニア州デービス市の北米工場建設予定地にて、学識関係者、地元自治体、お客様、サプライヤー、全米販売店社長等約80名の方にお越しいただき、地鎮祭を行いました。北米工場の建設により、納期及びサービス面での競争力の向上を図り、為替変動に柔軟に対応できる体制を整えます。



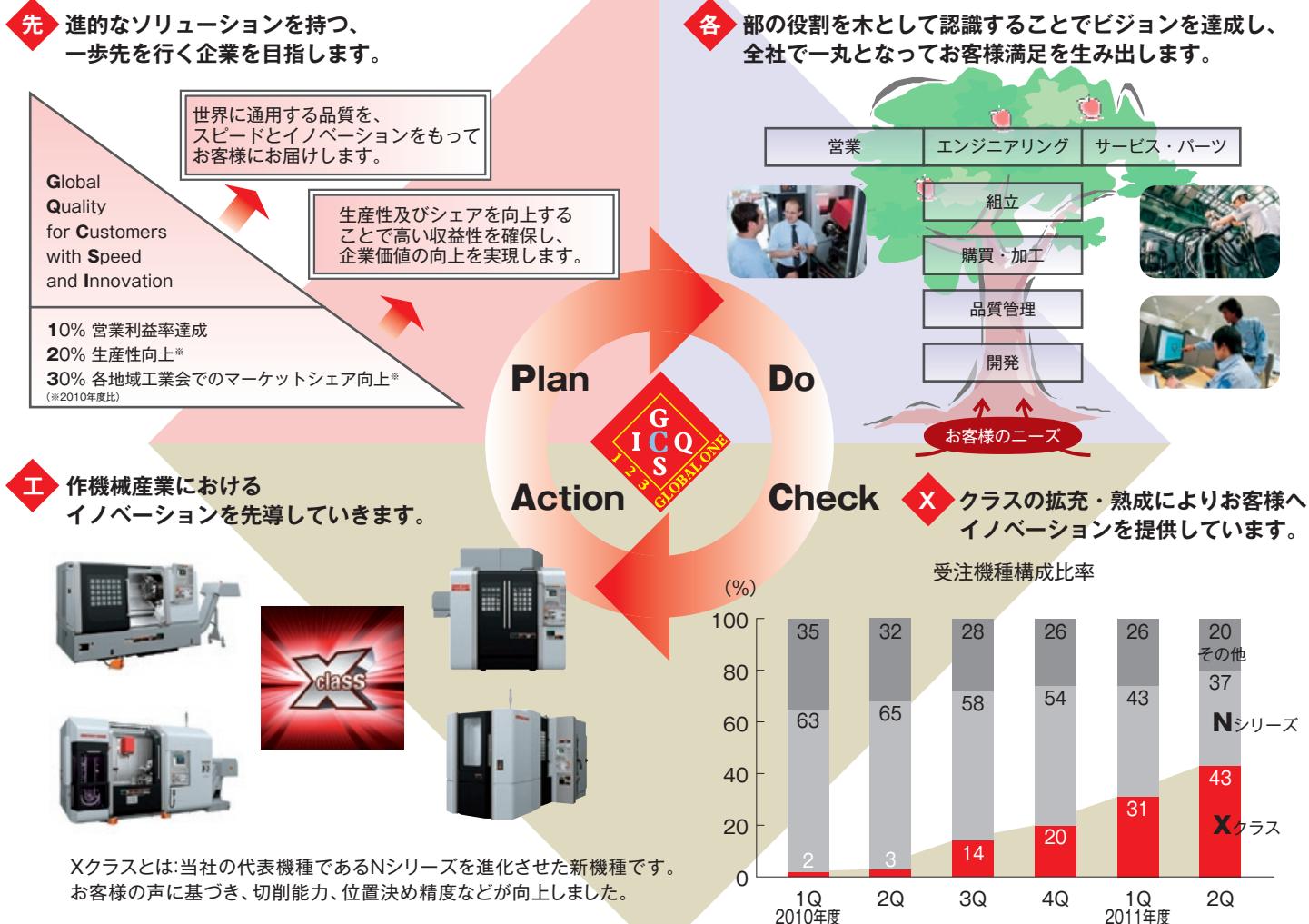
■概要	
敷地面積	約89,000㎡
操業予定	2012年(平成24年)7月
総投資額	50億円
生産品目	横形マシニングセンター他 当社主力の「Xクラス」

中期経営計画



森精機製作所は経営理念に基づき、工作機械産業における世界的な先駆者であるとともに、お客様の最良のパートナーでありたいと考えます。そのビジョンを共有し、確実な戦略を実行するために、2011～2013年度を実施期間とする第3次中期経営計画「GQ-C-SI 123」を実施しています。本計画では市場の変化に対応しながら継続的に成長していくために、「イノベーション」が不可欠と考えております。その中で、製品イノベーションとして市場へ投入した「Xクラス」は幅広い産業のお客様へ納入され、世界の製造業を支えています。

第3次中期経営計画「GQ-C-SI 123」のPDCAサイクル



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

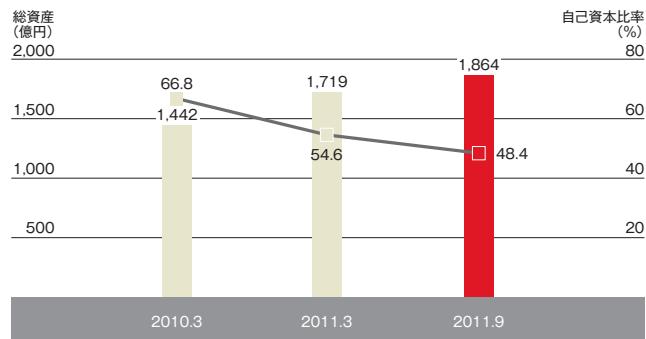
科目	前期	当中間期
	2011年3月31日現在	2011年9月30日現在
流動資産	86,177	93,209
固定資産	85,772	93,192
有形固定資産	54,421	53,479
無形固定資産	6,256	6,108
投資その他の資産	25,094	33,604
資産合計	171,949	186,402
流動負債	66,303	57,850
固定負債	10,317	36,766
純資産合計	95,328	91,785
負債・純資産合計	171,949	186,402

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日
売上高	46,590	71,812
売上原価	33,652	47,480
売上総利益	12,938	24,331
販売費及び一般管理費	18,678	22,003
営業利益又は営業損失(△)	△ 5,740	2,328
営業外収益	261	377
営業外費用	826	1,630
経常利益又は経常損失(△)	△ 6,305	1,075
特別利益	7	605
特別損失	379	170
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 6,677	1,510
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 6,108	1,225

総資産／自己資本比率



当中間期における総資産は、186,402百万円となり、前期末比14,452百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、建物及び構築物が1,394百万円減少したものの、投資有価証券が8,700百万円、たな卸資産が6,875百万円増加したことがあげられます。

なお、純資産は91,785百万円となり、自己資本比率は48.4%と前期末比6.2ポイント悪化しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

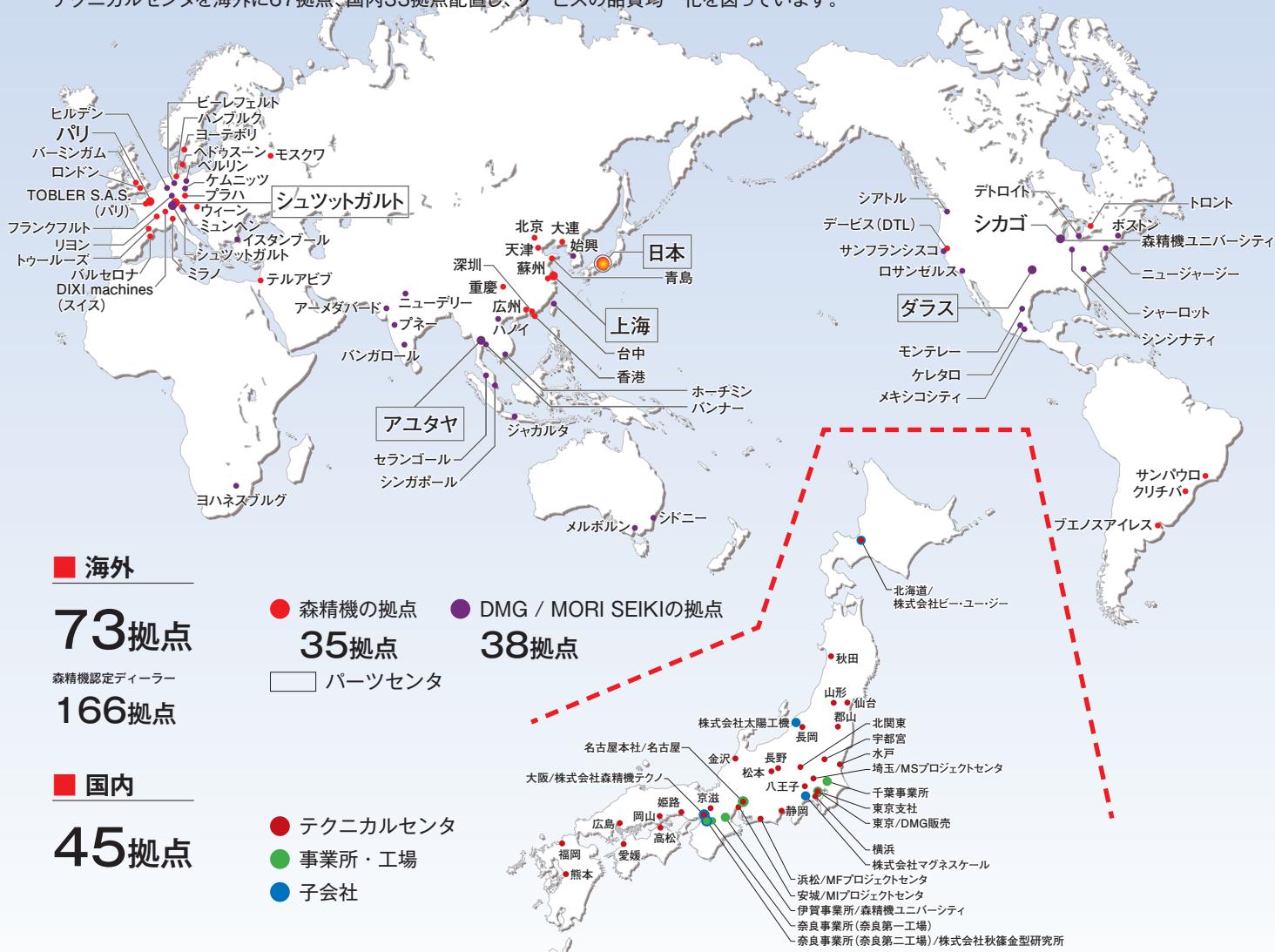
(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,391	△ 1,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,187	△ 15,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,871	17,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 58	△ 538
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少額)	△ 1,765	534
現金及び現金同等物の期首残高	7,255	7,414
新規連結に伴う現金及び 現金同等物増加額	260	94
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,750	8,043

森精機のグローバルネットワーク

グローバルな体制でタイムリーなサービスサポートを展開しています。

テクニカルセンタを海外に67拠点、国内33拠点配置し、サービスの品質均一化を図っています。



会社データ

会社の概要

2011年9月30日現在

会社名 株式会社森精機製作所 (MORI SEIKI CO., LTD.)
 資本金 41,132百万円
 設立 1948年10月
 本店(登記上) 奈良県大和郡山市北郡山町106番地
 名古屋本社 〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16
 TEL:052-587-1811(代)
 東京支社 〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟 18階
 TEL:03-5460-3570(代)
 主な事業内容 工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造及び販売
 従業員 2,134名(個別)/4,176名(連結)
 ホームページ <http://www.moriseiki.com/>
 役員
 取締役社長 ※ 森 雅彦 取締役 佐藤 壽雄
 取締役副社長 ※ 近藤 達生 常勤監査役 内ヶ崎 守邦
 専務取締役 玉井 宏明 監査役 加藤 由人
 常務取締役 高山 直士 監査役 栗山 道義

(注) 1. ※印は、代表取締役を示しています。
 2. 監査役の加藤由人、栗山道義の両氏は、社外監査役です。

株式の状況

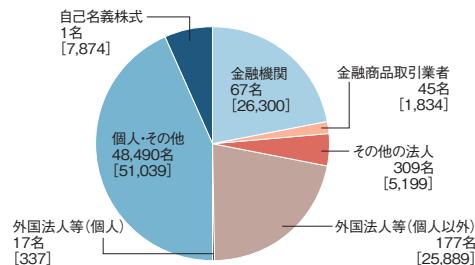
2011年9月30日現在

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 110,601,089株(自己株式7,874,223株除く)
 単元株式数 100株
 期末株主数 49,106名
 大株主

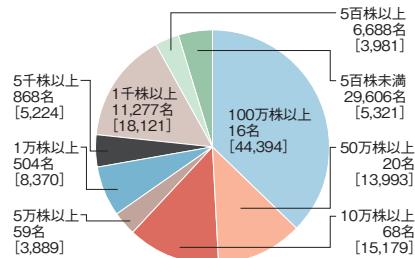
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
ギルデマイスター アーゲー (常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社)	6,042	5.46
ザバンク オブ ニューヨーク ジャスティック トリーティ アカウント (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	3,812	3.45
森 雅彦	3,540	3.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,308	2.99
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,195	2.89
全国共済農業協同組合連合会 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	2,950	2.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,680	2.42
森 智恵子	2,287	2.07
森 優	1,865	1.68
オーエム44ステートストリート808359クライアントオムニ 常任代理人 香港上海銀行東京支店	1,436	1.30

(注) 当社は、自己株式(7,874,223株)を保有していますが、上記大株主からは除いております。

所有者分布状況 [単位:千株]



所有株式数別分布状況 [単位:千株]



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部 株式会社大阪証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.moriseiki.com/japanese/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて
当社の企業情報を随時開示しています。
製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、
IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。

<http://www.moriseiki.com/>

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6141

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media) についての詳細 <http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

